

子どもの育ちを支える日本子ども・子育てネット

ニュースレター ■VOL:15 (2019・4・24)

# ここネット通信

日本子ども・子育てネットは  
日本の子どもが遊びながら豊かに育つことのできる社会の実現と  
日本の文化と命をつないでいく子育てを支えていく活動をしています。

## 開催予告 第10回子ども・子育て支援全国研究大会 於：山梨県甲府市

テーマ (仮)「連携からはじまる、子育てプラットフォームづくり」

主催 日本子ども・子育て支援センター連絡協議会 (日本子ども・子育てネット)

主管 山梨県実行委員会(保育協議会、山梨県私立幼稚園連盟、認定こども園設置者連絡会、  
子育てNPO、県児童福祉栄養士会、療育/児童養護関係者、森のようちえん、その他)

日程 2019年11月28日(木)・29日(金)の2日間

会場 甲府記念日ホテル 山梨県甲府市湯村温泉

参加費(予定) 14,000円(会員) 15,000円(非会員)

正式な開催要項は7月中に発送を予定しています。もうしばらくお待ちください。

## 「ストップ 虐待！ 親支援の在り方」検討会議の案内

近年発生している虐待事件ではいずれも親が加害者となり「しつけ」の名目で虐待が繰り返されています。増加する虐待事件を防ぐために2000年に児童虐待防止法が制定されましたが、法律では親が子どもを戒める「懲戒権」を認めており、このことが体罰を伴う「しつけ」が虐待の口実にされているとの指摘が出てきました。

体罰の禁止については子どもの命を守るという意味においては非常に重要なことです。しかし、「育児不安」が蔓延している子育ての現場では、法の改正に伴い体罰以外の必要な「しつけ」もできなくなる「育児崩壊」が起きるのではないかと懸念もあり「しつけ」「体罰」のあり方が問われています。

虐待防止において、「子どもを被害者にしない」、「保護者を加害者にしない」という2つの視点が考えられます。前者はいわゆる虐待の防止・発見・予防といった専門職としての視点ですが、これは言い換えれば親が虐待をしているのではないかという疑いの視点を伴うものであります。一方後者は、親の不安や負担感、大変さを丸ごと受容して包括的に親子を支援していくという共感的支援の視点です。

多くの保護者が戸惑い、萎縮し、悩みを抱えながら子育てに向かうことが予測されるなかで、私たち子育て支援の実践者には、保護者を受容し、保護者に寄り添い、共に歩もうとする姿が求められます。

別添の要項により研修会・検討会議を開催します。参加をお待ちしております。

## 日本子ども・子育てネット (日本子ども・子育て支援センター連絡協議会)

〒861-0123 熊本県熊本市北区植木町有泉 829

TEL 096-272-0673(山東こども園・主幹保育教諭 三原 担当)

096-272-0699(支援センター)

FAX 096-273-3322 【メール】info@kokonet.org

日本子ども・子育てネット

検索

<http://kokonet.org>